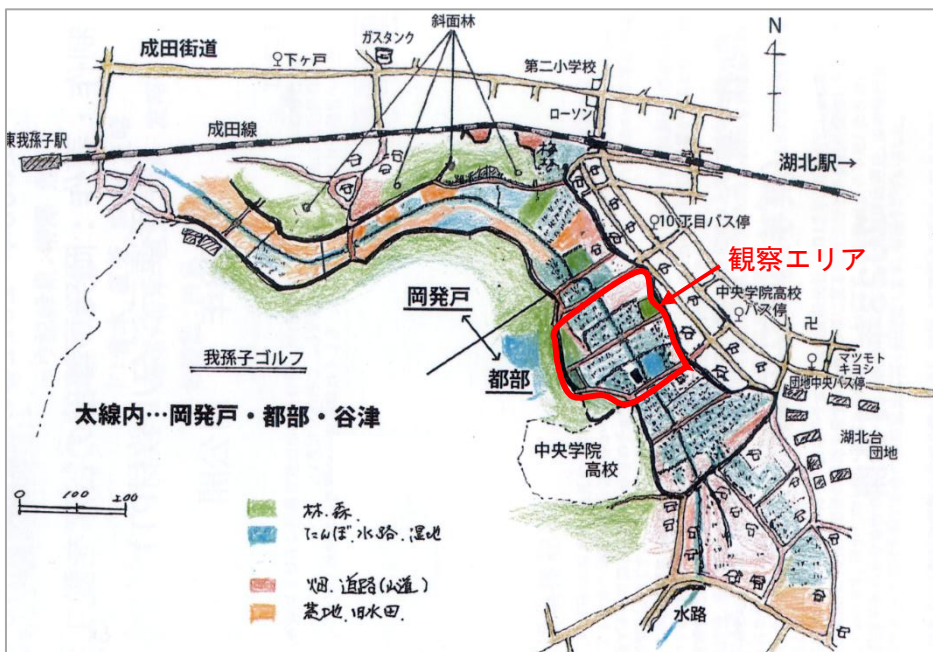




日 時： 2024 年 10 月 6 日（日） 10:00～12:00 ※参加費 無料  
 集 合： 9:20 我孫子ふれあい広場前（JR 我孫子駅北口徒歩 2 分）マイクロバス乗車  
 会 場： 我孫子市谷津ミュージアム（我孫子市都部）  
 講 師： 浅間 茂さん（NPO 法人自然観察大学学長・千葉県生物学会副会長）  
 平原寿一郎さん（谷津ミュージアムの会 代表）  
 田島友昭さん（岡発戸・都部の谷津を愛する会 会長）  
 参 加： 一般 25 名（11 家族、保護者 12 名、子ども 13 名）  
 ※小学 1 年 3 名、2 年 5 名、3 年 3 名、4 年 1 名、6 年 1 名  
 スタッフ 8 名（我孫子市 2 名、流山市 1 名、松戸市 1 名、白井市 1 名、委員 3 名）  
 後 援： 公益財団法人山階鳥類研究所

我孫子市では、2002 年から、手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津 36.7 ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活をめざす「谷津ミュージアム」事業を進めています。谷津は、かつて普通に見られた身近な生き物を育む、豊かな自然の宝庫です。



谷津を散策し、どんな生きものがあるのか、動物の足跡を手がかりにして観察します。

谷津ミュージアムには、一般用の駐車場がないため、参加者は我孫子駅北口ふれあい広場からマイクロバスで 3 人の講師が待つ現地へ移動しました。

生きものが大好きな子どもたちが参加してくれました。

地図作成：田島友昭さん

◆ウォッチング出発前に、予習です。講師の浅間さんから、クイズが出されました。



**質問1** 動物の指の問題です。人間は5本、シカは2本。指が1本の動物はなに？  
**答え1** 馬（蹄は指の爪の部分）

次は、テーブルに石膏で固めた動物の足跡の標本6個が並んでいます。

**質問2** これらの足跡はだれの足跡でしょう？  
 それぞれの足跡の絵が描いてある質問用紙に答えを書き込みます。

**答え2** A ニホンザル B シカ C アナグマ  
 D イタチ E ウサギ F タヌキ



**質問3** これらの中で我孫子の谷津で見られる動物は？ **答え3** イタチ、ウサギ、タヌキ

これからは、谷津のウォッチングで見つけられるでしょうか？

先生からたくさんヒントをもらって、全問正解者が多数。じゃんけんで勝った人には、先生の著書がプレゼントされました。

◆次は、谷津で見つかった珍しいものの紹介です。皆さん、興味津々！



オニフスベ（キノコ）



オオヨシキリの巣



カヤネズミの巣

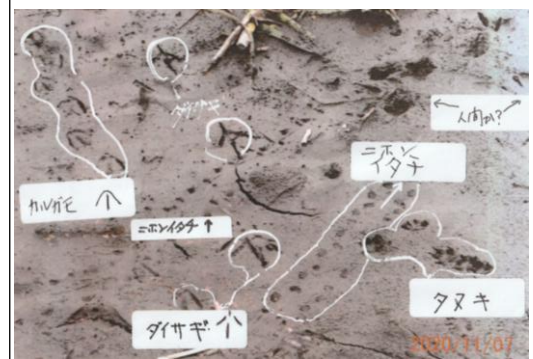
◆さあ！いよいよ出発です！

谷津ミュージアムの作業小屋を出て左に歩くと、講師の田島さんはエノキの若木の前で立ち止まりました。幼虫期にエノキの葉を食べるアカボシゴマダラの羽化殻を見つけました。



アカボシゴマダラは、特定外来生物で、中国から人為的に移入。エノキを食樹の在来種ゴマダラチョウやオオムラサキと競合していると説明。

残念ながら、当日はほとんどの足跡は確認できませんでした。田島さんは、散策終了後に以下の写真を参加者に配布し、補足説明しました。



◆散策コースで出会ったのは？



◆参加者の感想（アンケートより）

- ・ たくさんの方を教えてくださいましてとても有意義な時間でした！本当にありがとうございました。
- ・ 先生が数人いらっしゃって、すぐに質問出来たりして良かったけれど、離れたところで話している内容も聞きたかったけれど、叶わず残念がっていました。
- ・ 先生が居てくれたお陰で、気になるものを直ぐに聞いて子どもたちも夢中になっていました。
- ・ この度は五感で自然をいっぱい感じるイベントをありがとうございました。親子共に楽しく学ばせていただきました。同じ場所を四季を通して観察し、どんな変化があるのか知りたくなりました。
- ・ 自分たちだけで散策していたら見過ごしてしまうものを先生やお友だちと一緒にですと次々に見つかりワクワクしました。またぜひ参加したいです。
- ・ バスを出して頂いて、とても参加しやすかったです。また、イベントの時間も、小さい子どもにも丁度良かったです。

他に確認した種/カルガモ・キジ(雌雄)・ドバト・ハシブトガラス・ハグロトンボ・ナツアカネ・オオカマキリ・コバネイナゴ・エンマコオロギ・ハネナガイナゴ・ウラナミシジミ・キタテハ・ミノムシ・ヨコヅナサシガメ・アメンボ・アメリカザリガニ・オオバコ・オッタチカタバミ・ヤブラン・イノコヅチ・ワルナスビ・ヒガンバナ・イヌタデ・オオシロカラカサタケ他

